

「世界津波の日フォーラム」

～巨大津波災害に備えるための国土強靱化の役割～

内閣官房 国土強靱化推進室



「世界津波の日フォーラム」

「世界津波の日フォーラム」 ～巨大津波災害に備えるための国土強靱化の役割～

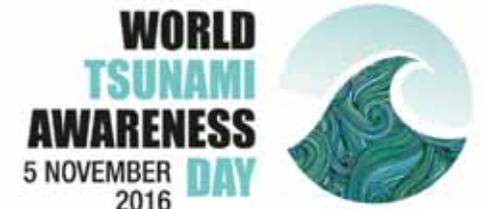
- 日 時：11月5日（土） 開場/14：00 開演/14：30 閉会/17：00
- 場 所：イイノカンファレンス Room A
- 趣 旨：昨年12月の国連総会において、日本政府主導のもと142か国の共同提案により、世界各地で津波に対する防災意識の向上を図るため、11月5日を「世界津波の日」として、全会一致で制定された。

国土強靱化の推進にあたっては、施策の担い手となる関係府省や地方公共団体、さらには事業者や国民にも、国土強靱化が津波をはじめとした大規模災害などの対策として正しく理解されることが重要である。

そのため、「世界津波の日」である11月5日に、国土強靱化に取り組む実務者を招いて、国土強靱化に関する情報共有・意見交換を行うフォーラムを開催する。

- 内 容：オープニングアトラクション（稲むらの火の朗読）
国内外の津波防災、国土強靱化に取り組む実務者による基調講演及びトークセッション
- 主 催：内閣官房 国土強靱化推進室
- 参加費：入場無料

参加人数 約200名



当日プログラム

14:30 開会

- ▶ オープニングアトラクション
稲むらの火語り
平野 啓子 [語り部・かたりすと]
- ▶ 主催者挨拶
松本 純 [国土強靱化担当大臣]
- ▶ 来賓挨拶
二階 俊博 [衆議院議員]
仁坂 吉伸 [和歌山県知事]
三浦 惺 [レスパンプ推進協議会会長]

14:55 基調講演

- 1▶ 「世界銀行と防災 ～強靱な開発を目指して～」
塚越 保祐 [世界銀行駐日特別代表]
- 2▶ 「チリと日本の防災協力の重要性」
ビクトル・オレジャーナ
[チリ共和国内務省国家緊急対策室 (ONEMI) 次官]
- 3▶ 「巨大津波と国土強靱化」
藤井 聡 [内閣官房参与・京都大学大学院教授]

16:10 鼎談

塚越 + オレジャーナ + 藤井 3氏

17:00 閉会

(敬称略)



平野啓子 氏



松本 純



塚越保祐 氏



ビクトル・オレジャーナ氏



藤井 聡 氏

世界津波の日フォーラムの様子

オープニング



平野啓子氏による語り

主催者挨拶



松本純
国土強靱化担当大臣

来賓挨拶



二階俊博 衆議院議員



仁坂 和歌山県知事



三浦 レジリエンスジャパン
推進協議会会長

基調講演



塚越保祐
世銀駐日特別代表



ビクトル・オレジャーナ
チリ共和国内務省国家緊急対策室
(ONEMI)次官



藤井聡 内閣官房参与・
京都大学大学院教授

鼎談



左から
塚越氏、藤井氏、オレジャーナ氏

基調講演・鼎談の概要

基調講演①

塚越 保祐 氏
[世界銀行駐日特別代表]

- インフラと民間への投資・人への投資・**リスクに対応する強靱化**が、世銀の活動の3本柱。
- **世界の持続的成長**にとって、**リスク**に対する平時からのシステム強化と危機対応への備え：開発事業における「**防災の主流化**」が重要。
- 例えば、インフラと併せて**事前防災のためのコミュニティ作り**など国土強靱化の取り組みに対しても支援
- 日本－世界銀行防災共同プログラムを通じた協力も進んでいる。
- 「**東京防災ハブ**」を設け、途上国への事前防災への技術支援や国内外の知見の共有を推進

基調講演②

ビクトル・オレジャーナ氏
[チリ共和国内務省国家緊急
対策室(ONEMI)次官]

- チリ国家緊急対策室(ONEMI)では、防災教育・研修、防災コミュニティの強化、ツール開発などを展開中
- 国際協力機構(JICA)を通じ、**地震・津波に関する共通課題と知見の共有**において、**日本と連携**
- 例えば、**KIZUNAプログラム**では、日本、ラテンアメリカ、カリブ海諸国が連携・協力し、教育や緊急時と**災害時の「心のケア」**などを共有
- 「仙台防災枠組2015-30」への参画
- 「記憶と知見のセンター」を設立。**若い人たちに災害リスクを伝えていく活動を今後推進。**

基調講演③

藤井 聡 氏
[内閣官房参与・京都大学
大学院教授]

- 「**稲むらの火**」の物語から得る、**濱口梧陵のリーダーシップ、ハード対策の有効性**などの教訓
- 「**最悪の事態**」の**イマジネーション**が重要(国土強靱化の原点)
- 生き残るための計画である「**国土強靱化計画**」は、国内全計画の「**上位計画**」
- **ハード対策とソフト対策の融合**(防災まちづくり国づくりを考えるという冊子も約270万部の配布)
- **徹底的財政・防災減災ニューディール**＝復興の被災対応は**しっかり財政**することが重要

鼎談

==参加者から事前に募集した質問を、藤井氏が総括して質問する形で進行した。==

藤井: 津波防災において、**地域住民がすべきこと**は？

藤井: 融資時、**地方政府の防災対応**に求めることは？

才氏: チリでは、自分とその周囲は自分で守り、その後の災害を**自分たちで主体的に防ぐ**ことを重要視。
国は市民と合意の上、市民に対し避難に役立つツールを配布し、市民はツールを活用して避難する。

塚越: 例えばアチエでは、世銀と中央政府が結ぶ計画に地区単位での災害対応まで盛り込んで推進し、**良い復興に結びついていった。地方政府の災害対応を財政、人材面で支えることは重要。**